

～作業活動を通して～

S様は廃用症候群で入院され、その後すこやか生野に入所されました。入所当初は、「寝ていたい」と仰ることが多く、離床時間が短い状態でした。作業活動の中で、他利用者様と交流しながらお花を作ることや、机上課題を提供しました。1か月が過ぎた今では、離床時間が拡大し、課題が終わると「他にするものない？」と積極的にスタッフへ声をかける場面も増えていきます。作業活動の中でも塗り絵は、他利用者様やスタッフより「きれいですね。上手に塗ってますね。」と声をかけられることも多く、とても喜んでおられます。

対人交流や、作業活動によって認知機能の向上や離床時間の拡大が図れ、さらに活動量も増えることで身体機能の向上にも繋がります。お好きなものや興味のあるものを本人様や家族様よりお伺いし、お一人で行えるように環境を整えたり、スタッフと一緒に出来るようにサポートしていきます！



S様（入所）

医療法人アエバ会
介護老人保健施設

すこやか生野

<https://www.aeba.or.jp>



アエバ会

検索

無料見学体験会随時実施中！

お気軽にお問い合わせください。



■入所・短期入所
TEL：06-6717-8002（代表）

■通所リハビリテーション
TEL：06-6717-8003（直通）

■居宅介護支援事業所
TEL：06-6717-8033（直通）

すこやか生野 リハビリテーションの取り組み

すこやか生野に4月から言語聴覚士が入职しました

言語聴覚士とは字を見ての通り、「コミュニケーションとその周辺の機能」のリハビリを専門的に実施するセラピストです。何気なく行っているコミュニケーションですが、口腔や言葉、聴覚だけでなく、判断力・注意力・記憶力・想像力等様々な能力が同時に発揮されています。そして、同じ部位・機能のリハビリとして、摂食・嚥下障害も言語聴覚士の分野になります。普段、何気なく食事していらっしゃると思いますが、「食べる」ということも口腔機能だけでなく、認知・高次脳機能等さまざまな機能が必要とされています。病気や事故等でそれらの能力が障害された方にリハビリを提供するのが言語聴覚士です。

すこやか生野に入所されている方に対しては、独自のリハビリとして、コーラスリハビリを実施しています。歌には上記の機能に同時にアプローチできるだけでなく、記憶の刺激や呼吸機能、体幹機能等を刺激することができます。他にも思いきり声を出してスッキリしたり、歌の話題で会話が盛り上がったりと精神面にも良い影響がみられています。

言語聴覚士はリハビリの中でも比較的新しく、なかなか聞きなれない職種だと思いますが、これからよろしくお願い致します。



☎ 06-6717-8002 (代表) 担当：佐々木、河村

すこやかKITCHEN note

～すこやか生野のキッチンで調理している食事レポートです！～

・ご飯・れんこんのはさみ揚げ・蕎麦のとろろサラダ・さつま汁

秋の薬膳料理です。

秋が旬のれんこんには喉の渇きや咳、痰などを解消する作用があります。

担当：管理栄養士 古舘

